



非核日本キャンペーン推進ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会

電話：03 - 5842 - 6031

2024年

FAX：03 - 5842 - 6033

Eメール：antiatom55@hotmail.com

9月12日

【神奈川】 世界大会成果を報告し禁止条約批准訴え

神奈川県原水協は9月9日12時から1時間、横浜市中区の伊勢佐木町商店街で6・9行動を実施しました。

残暑が厳しい中でしたが、神奈川労連、新婦人神奈川県本部、県原水協4役の7人が参加。世界大会の成果の報告と核兵器禁止条約の批准を求める宣伝署名をおこないました。人通りは多くあ



りませんでした。若い人からお年寄り、男性、女性の区別なく、署名に応じてくれる人が多く、1時間弱の行動で41人分の「禁止条約参加署名」が寄せられました。

県原水協では9月26日の核兵器廃絶国際デーの行動を全県によびかけるとともに、県の中心行動として9月26日12時から13時、JR桜木町駅東口ひろばで宣伝署名をおこなう予定です。

(神奈川県原水協事務局長・三井靖広)

【兵庫】 国連始まる9月にいっそう頑張ろう

兵庫県原水協は9月6日と9日に6・9行動。6日はまだ30度超えの暑い中、世界大会後のはじめの訴えに新婦人2人、共産党2人、兵庫労連、兵庫商連、AALA、日本ベトナム友好協会、元神戸港の10人が参加。新婦人の荻野事務局長や兵庫労連の成山議長、AALAの井村事務局長などがマイクで、原水爆禁止世界大会の成功と議論の内容を紹介し



ながら、核兵器禁止条約に背を向ける日本政府をきびしく批判して、被爆80年に向けて禁止条約に参加するように迫ろう。自民党の総裁選挙候補者すべてが軍備拡張論者、改憲派であることを批判し、混迷する兵庫県政の刷新と合わせて、国政、県政を憲法通りに政治を行うものに変えようと呼びかけました。海外からの観光客らも目立ち、「戦争をなんとか止められないのか」「(NHKの朝ドラで原爆裁判が取り上げられており)被爆者の苦勞に応じて核兵器を使えないようにしてほしい」「(中国人観光客)どの国も核兵器を持ったらダメだ」などと話しながら署名に応じていました。この日の訴えで55人(うち4人は中国人)から署名が寄せられました。